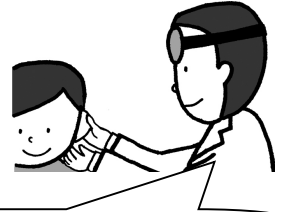


6月23日（木）は、耳鼻咽喉科検診があります。

\* 1年生と2年生は全員、3年生はアンケートより抽出で  
学校医の芦原誠先生に耳や鼻、のどに異常がないかを診ていただきます。



### 耳鼻咽喉科検診で気を付けること

痛くないので、リラックスして受けてください。

- ☆ 前日に鼻や耳の掃除を忘れずにしてください。
- ☆ 保健室に入る前に、手指を消毒しましょう。
- ☆ 保健室の中に入ったら、絶対にしゃべらない。

マスクをとっての検診となるので、名前、「よろしくお願いします」「ありがとうございました」の挨拶は声を出さずに、心の中ですること。

- ☆ 髪の毛が長い人は、耳の中が見えるように髪の毛を耳にかけましょう。
- ☆ 自分の番になったら、黙ったままアンケート用紙を記録の人に渡します。
- ☆ 検査は以下のような流れで行います。

- ① 耳：耳鏡という器具で、校医さんに耳の中を診てもらいます。  
横向き【耳を見せる向き】になりましょう。



- ② 鼻：鼻鏡という器具で、鼻の中を診てもらいます。  
前を向きましょう。



- ③ のど：舌圧子という器具で、のどを診てもらいます。



- \* 器具を使いますが、痛くありません。安心してください。
- \* からだの力を抜いてリラックスするようにしましょう。

## 【耳鼻咽喉科検診で見分かる

### 耳垢栓塞

#### 【症状】

耳垢が詰まって、完全に耳の穴を閉塞してしまう状態です。周囲の音が聞こえにくくなることがあります。炎症を起こすと、強い痛みを生じる場合もあります。

#### 【治療】

耳の中を傷付けないよう慎重に、たまった耳垢を取り除きます。大きな塊になっていたり、皮膚に強く付着していたりするような場合は、薬剤で溶かしてとることもあります。自分で取ろうとせず、病院で取ってもらいましょう。

### 副鼻腔炎

#### 【症状】

副鼻腔（鼻と目を取り囲む骨の中にある空洞）に炎症が起こって膿が溜まっているものを副鼻腔炎（蓄膿症）といいます。鼻のつまり、色の付いた粘り気のある鼻汁、頭痛、痰のからみやせきなどの症状が出ます。ウイルス感染、細菌感染、アレルギーなどが複合的に関与して起こります。

#### 【治療】

鼻汁の吸引と鼻と副鼻腔の通路を広げる処置を行った上で、ネブライザーという薬液を噴射する治療を行います。病態に合わせて、抗菌剤や抗アレルギー剤などを適切に組み合わせた薬を内服します。

### 鼻炎

#### 【症状】

鼻の粘膜の炎症を鼻炎といいます。原因として、ウイルスや細菌などの感染によるもの、アレルギーによるもの、神経反射によるものなどに分けられます。いずれもくしゃみ、鼻水、鼻つまりなどを起こします。重症になると副鼻腔炎を併発します。

アレルギー性鼻炎は、免疫系が異常に働いて起こるものです。原因となるものに、ダニなどのハウスダスト、スギやヒノキなどの花粉があります。主な症状はくしゃみ、水っぽい鼻水、鼻つまりの三つです。

#### 【治療】

鼻炎といっても原因は様々なので、治療は原因に応じた治療を行います。軽いかぜのウイルス感染であれば、自然治癒することが多いのでそのまま様子を見ます。細菌感染を起こした場合は抗菌剤、アレルギーによるものは抗アレルギー薬などを使います。

### 難聴

#### 【症状】

難聴は、外耳や中耳に原因のあるもの（伝音難聴）と中耳の奥の内耳や聴こえの神経に原因のあるもの（感音難聴）の二つに分けられます。

#### 【治療】

伝音難聴の場合は、難聴の元になっている病気を治療すれば、一般的に難聴も治ります。感音難聴では、治療は困難です。突発性難聴は飲み薬や点滴治療で改善できる場合もあります。

検診後、受診が必要だと思われる人に受診のお勧めの用紙を渡します。用紙を受け取ったら、早めに病院へいきましょ。